



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 20

2014.12.10 (No.2805)

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏
 会 長／高橋 司
 会長エレクト／五十嵐晋三(クラブ奉仕A)
 副 会 長／川瀬康裕(クラブ奉仕B)
 幹 事／野崎喜一郎
 S A A／松永一義
 会 計／船越正夫

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

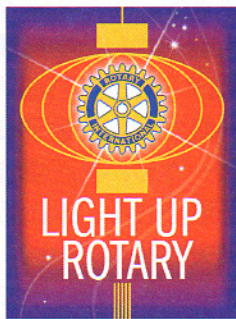
- 本日の出席会員数:54名中40名
- 先々週出席率:82.00%

【ヴィジター】

・ 米山奨学生 アイヌル アラファさん

【先週のメイクアップ】

- [12.4] 燕RCへ
 ・ 加藤紋次郎さん、阿部吉弘さん、
 ・ 小越憲泰さん
- [12.4] 三条ローターアクトへ
 ・ 高橋 司さん、野崎喜一郎さん、
 ・ 吉井直樹さん、伊藤寛一さん
- [12.5] ウィンターフェスティバルへ
 ・ 樺山 仁さん
- [12.5] 社会奉仕委員会会議(小千谷)へ
 ・ 杉山幸英さん
- [12.9] ガバナー補佐会議(長岡)へ
 ・ 菊池 渉さん



「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

高橋 司 会長



皆さん今日は。

今日は12月10日はノーベル賞授賞式です。
 アルフレッド・ノーベル(1833年10月21日
 ～1896年12月10日)は、スウェーデンの発
 明家・企業家であり、ダイナマイトをはじめ
 とする様々な爆薬の発明・生産によって
 巨万の富を築いた。

しかし爆薬や、兵器をもとに富を築いたノーベルには一部
 から批判の声が上がっていた。

1888年、兄のリュドビックがガンに死去するが、この時
 フランスのある新聞がアルフレッドが死去したと取り違え「死
 の商人、死す」との見出しとともに報道。自分の死亡記事
 を読む羽目になったノーベルは困惑、死後自分がどのように記
 憶されるかを考えるようになった。

1896年12月10日に63歳でノーベルは死去するが、遺言は
 死の一年以上前の1895年11月27日にパリのスウェーデン人・
 ノルウェー人クラブにおいて署名されていた。

授賞部門

- ・物理学賞
- ・化学賞
- ・生理学・医学賞
- ・文学賞
- ・平和賞
- ・経済学賞

晩餐会

1979年の平和賞の晩餐会は受賞者のマザーテレサが「貧しい人にお金を使って下さい。」として出席を辞退。開催を中止させて晩餐会に使うはずだった7000USドルの費用は、カルカッタの2000人のホームレスへのクリスマスの夕食に使われた。これは現時点で唯一の晩餐会が中止になった例である。

1991年にノーベル賞90周年事業の一環として晩餐会に使う食器類のカトラリーのデザインを担当したゴナ・セリンが懇意にしていた新潟県燕市の山崎金属工業に依頼した。

受賞者

1949年に湯川秀樹氏が日本人として初のノーベル賞を受賞した。

今迄の受賞者は

物理学賞 9名、化学賞7名、医学生理学賞2名、文学賞 2名、平和賞1名

今年の受賞者は

物理学賞に中村氏、天野氏、赤崎氏の3名です。

・三億円事件

1968年12月10日東京都府中市で発生した事件ですが、1975年（昭和50年）12月10日に公訴時効が成立し未解決事件となる。

幹事報告

野崎喜一郎 幹事

◎加茂RCより「第14回 ライラ研修報告書」が届いております。

◎佐々木ガバナー事務所より

「2015年度 夏期交換学生募集要項」

交換先 ドイツ

派遣期間(予定) 2015年8月初旬出発

ドイツで2~3週間ホームステイ

受入期間(予定) 2015年7月中旬より2~3週間

募集締切 2015年1月末日

◎次週17日(水)は、夜例会「ファミリークリスマスパーティー」です。

18:30~/ジオ・ワールドVIP

夜例会ご欠席の方は事務局で記帳をお願い致します。

ニコニコBOX

高橋 司さん

宮本信秋会員、卓話ありがとうございます。

熊倉昌平さん

総選挙がたけなわです。

宮本信秋さんの卓話を期待しております。

斎藤弘文さん

本日期日前投票を心を込めて願いを込めて投票して参りました。

樺山 仁さん

12月5日市内の特別支援学級の子供達(小、中学生)と福祉センターホールでウインターフェスティバルに参加してまいりました。楽しんで来ました。

川瀬康裕さん

先週シカゴの学会に参加しました。大雪かと思ったら青空でした。

野崎喜一郎さん

今日は良い事があるかもしれません。

吉井直樹さん

先週の例会を欠席してしまいました。RSウィルスやら、インフルエンザやらがはやっている様ですので、体調に気を付け、年末までガンバリたいものです。

本日、宮本会員宜しくお祈りします。

関川 博さん

入会させていただきあつという間に3年です。

日常にはない緊張感が今は楽しみです。

宮本さん、卓話楽しみです。

初心を忘れず今日からまた頑張ります。

衛藤泰男さん

12月6日PM7:30年配の知人女性から近くで運転を誤り雪道の側溝へ突っ込んだとのSOS。救援に駆け付けました。現場を通行中の車が次々停車し大勢の人々が脱出を手伝ってくれました。三条市にはやさしい人がいっぱい居りました。

中村信一さん

宮本さん、卓話ありがとうございます。

本日、中座させていただきます。申し訳ありません。

五十嵐晋三さん、五十嵐昭一さん、中林順一さん、野地貞儀さん、中村和彦さん、若槻八十彦さん、歸山 肇さん、松永一義さん、金子俊郎さん、外山雅也さん、伊藤寛一さん、石橋育於さん、小越憲泰さん、小出子恵出さん、丸山行彦さん、杉山幸英さん、木村文夫さん

宮本信秋会員、本日は卓話ありがとうございます。お話しみにしております。

12月10日分 ￥ 27,000

今年度累計 ￥504,000

「卓話」

『銀行の現在・過去・未来』



宮本信秋 会員

第四銀行三条支店の宮本です。本日は高い席からの卓話ということで、いつも第四銀行を利用させていただきお世話になっている皆様の前で、話をするのはたいへん気が引けます。

先週、五十嵐次期会長がこの壇上で、ロータリーに入って10年くらい経たないと「やあ」とは呼べないと言われておりましたが、まさにその通りではないでしょうか。「やあ」とは言えませんが、笑顔を絶やさず、皆さんとおつきあいでまいりますので、これからもロータリーの仲間としてお付き合いしていただければと思っています。よろしくお願いします。

①自己紹介

宮本信秋の名前の由来は、信頼される人間になり、心は秋の空のようにすっきりと晴れ渡った曇りのない心を持てるように。そうした親の期待とはかけ離れてしまっているのは否めませんが、この季節の「秋」を使った「信秋」という名前はあまり無く、新潟出身の元国土交通省事務次官で現参議院議員の佐藤信秋さんと同じ名前ということで、全く関係は無いのですが、少し嬉しい気持を持っています。

出身地は新発田市で現在は新潟市の石山というところに自宅があります。一応単身赴任の形態で、現在バルムマンションの社宅に入っています。

家族は妻と、子供3人。子供は現在、全員東京方面にいますので、現在自宅は妻と犬しかおらず、少し心配なため、極力自宅に帰るようにしています。夜遅く帰ると妻は寝ていて出迎えてくれませんが、犬だけはしっぽを振って玄関で待ってくれているので、家に帰る意義はとりあえずあるものと思っています。

銀行員生活は32年目ですが、転勤は15回しました。引っ越しは5回しまして、うち2回は家族で引っ越しをしました。

趣味は、腰痛防止のため始めたジョギングで、年に2、3回10キロかハーフマラソンに参加しています。フルマラソンは多分足腰の「勤続」疲労を起こすため、まだ挑戦はしていませんが、いつかはやってみたいと思っています。

②第四銀行の歴史…番号付き旧国立銀行で最も古い。

明治5年11月に制定された国立銀行条例に基づいて、翌年11月2日（創立記念日）に設立。初代頭取は市島徳次郎（旧北蒲原郡豊浦町出身）で、現在の並木頭取は第14代となります。また、現在の三条支店の建物は、昭和37年7月に新築したため、現時点で52年も経っていることとなります。

番号付きの旧国立銀行は、

- ・第一国立銀行…第一勧業銀行の前身
- ・第二国立銀行…横浜の豪商・貿易商の出資
- ・第三国立銀行…大阪の富豪鴻池家ら⇒創立総会で株主間の紛議が生じて、開業に至らず。この免許を後に譲り受けて、大阪ではなく東京で、当行設立の3年後に「第三国立銀行」が設立されましたが、それは後の「安田銀行」となりました。後の「富士銀行」そして今の「みずほ銀行」へとつながっています。

ところで「第三銀行」という三重県松阪市に本店を置く銀行が今もあります。これは旧国立銀行に由来するものではなく、第三相互銀行という相互銀行時代の名前に由来する第二地銀であります。

また、いまほど申し上げた「第三銀行」の他に番号付きの銀行がいくつもあります。数の少ない順に、岐阜の「十六銀行」、長崎の「十八銀行」、宮城の「七十七銀行」、長野の「八十二銀行」、三重の「百五銀行」、香川の「百十四銀行」で、「第四銀行」と先ほどの「第三銀行」含め、番号付き銀行は全部で8つあります。このうち単純に旧国立銀行と呼べないのは、先ほどの「第三銀行」と「八十二銀行」の二つです。「八十二銀行」は上田市の「第十九国立銀行」と長野市の「第六十三国立銀行」が昭和6年に合併して、その数を足し算して「八十二銀行」としたものです。

③銀行の仕組みとその変遷

ご存じのとおり、基本は今も昔と変わらず、預金を集めそのお金を融資や有価証券などで運用してサヤを取っています。

融資に関しては、最近では成長分野と言われてきます“医療”“介護”太陽光などの“エネルギー関連”あるいは“農業”といった分野に、各銀行とも力を入れてきています。

こうした「資金収益」は、低金利と競争激化によって減少傾向ですが、徐々に投資信託や保険、あるいはアドバイザー業務と称した“M&A”“事業承継関連”などのフィービジネスによる「役務収益」が増加傾向にあります。つまり、資金収益では生き延びられない状況となっており、各種手数料などの非

金利収益でカバーせざるを得ない状況となっています。

また、増加傾向にあるフィービジネスでは、セブン銀行がコンビニATMで各金融機関と提携することで多大な収益を上げているのは皆さんご存じだと思います。

このように、いろいろなフィービジネスで収益を上げていく傾向は、各銀行とも益々強めていくものと思います。

④現在の当行の取り組み

(話は変わりますが、少し第四銀行の宣伝をさせて下さい。現在の取り組みについて話をさせて頂きたいと思います)

I.「オレオレ詐欺」

最近のトピックスとして、まず「オレオレ詐欺」があります。今年是这样した特殊詐欺の被害額が、過去最高の500億円に達する見込みであり、何としても預金という大切な財産を守っていく取り組みが必要であります。

この一向に被害が減らないオレオレ詐欺などの詐欺被害防止に向けた取り組みとして、今年6月に北越銀行・大光銀行と連携して、新潟県警並びに新潟県銀行協会と協力し、詐欺によってお客さまが銀行窓口で多額の現金を払い出しする被害を防止する取り組みを更に強化しております。

ご高齢のお客さまによる銀行窓口における多額の現金の払い戻しについては、

①70歳以上のお客さまが200万円以上の現金の払い出しをされる場合は、お支払いの目的をお伺いすると共に、「お振り込み」や「記名式線引預金小切手」によるお支払いをご案内する。

②やむを得ず現金で払い出しをご希望される場合は、原則として銀行は警察に連絡。なお、警察官から改めてお客さまにお取り引きの内容を確認させていただき、警察が認めた場合に限りお客さまに現金をお支払いする、というものです。

詐欺とは知らずに窓口に来られる高齢の方は、自分はだまされていないと信じ切っている方が殆どですので、警察を呼ぶということが犯罪者扱いされたとして苦情につながることも想定されます。金融機関としては悩ましい面もありますが、お客様の大切な財産を守るための取り組みでありますので、引き続き地域の皆様からのご理解とご協力を得ながら、詐欺撲滅に努めていきたいと思っております。

II.NISA

また、貯蓄から投資へという流れをより強くしていくため、「NISA」という少額貯蓄非課税制度というものが今年1月から開始されています。皆さんもすでにご存じのことと思いますが、NISA口座を開設して上場株式や株式投信を購入すると、本来20%課税される配当金や売買益等が、非課税となる制度です。年間の非課税投資額は100万円が限度で、預金や国債・社債は対象外です。この制度は20歳以上の人が対象となりますので、例えば、子供や孫への贈与枠…暦年贈与で110万円までは非課税とされていますので、20歳以上の子や孫へ100万円の金銭贈与を行い、その資金をもとに子や孫がNISA口座を開設して非課税投資を行うことができます。

III.「140周年事業」

昨年11月に140周年を迎え、これからの未来を支えてもらう地域の子供たちを支援する、いわゆる「次世代支援」の取り組みをいくつか行っています。例として、お客様が発行する私募債の手数料の一部を使って、地域の学校へ図書やテントなどの備品を寄贈する「みらい応援私募債」という商品を作り、沢山の取引先様より利用いただいております。

また、140周年事業として開校した「だいしアカデミー」と銘打った取り組みでは、子供たちに銀行内の見学や、野球サッカーのアルビレックス観戦をしてもらったり、県内初の全国高校金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の新潟大会を主催するなどして、こうした様々な体験授業を実施して2000名を超える子供たちの参加をいただいております。

IV.クレジットカード

またついでにPRさせていただきたいのが、クレジットカードです。金融機関は子会社にクレジットカード会社を持っているケースがほとんどですが、当行もJCBとDCカードが子会社にあります。現在東京オリンピックの開催される2020年に、政府は訪日外国人を2000万人(日本の人口の1/6、東京都の人口の1.5倍)に増やす目標を掲げています。

カード払いの習慣が身に就いた外国人に対し、地方には大都市圏ほどカードで決済できる店舗が少なく、カード決済できる加盟店の増強にも力を入れています。消費支出のうち、カードなどでの支払い割合は、大都市圏では2割前後ですが、地方圏は1割程度に留まっているため、クレジットカードの申込・利用をお願い致します。

⑤地方銀行の未来

さて、最後の話となりますが、皆さんご存じのとおり、最近では地方銀行の合併話がいくつか出てきております。先月発表となった、横浜銀行と東日本銀行の統合、それから肥後銀行と鹿児島銀行の統合が記憶に新しいと思いますが、二つのケースとも経営のトップが昔からつながりのあった点が特徴であります。

横浜銀行の寺沢頭取と東日本銀行の石井頭取は、旧大蔵省の3年先輩後輩でともに国税庁長官を務めたとのこと。また、肥後銀行の甲斐頭取と鹿児島銀行の上村（かみむら）頭取は慶応大学商学部の同期で、銀行の福岡支店長時代に一時期重なっているとのこと。

そうしたつながりのもと、地域マーケットの縮小という同じ問題意識を持ち、県からもっと広域な地域展開を目指して成長を求める「攻めの経営転換」が必要であるとの判断があったと言われております。

この二つのケースは、これまでの経営体力のある銀行が不良債権に苦しむ銀行と合併・統合する「救済型」が一般的であったのに、人口減少などによる経営環境の厳しさに危機感を募らせて結集する統合の形態であります。

こうした中で、新潟県の地銀はどうなるのかという点につきましては、先月の中間決算発表で新聞に掲載され、ご覧になった方も多いと思いますが、当行・北越・大光の県内地銀の各頭取は、経営統合に否定的な発言をしておりました。

いずれにしましても、県内の人口減少は2014年には170万人台と現在の人口から約60万人減少すると予測されており、マーケット縮小は否めないと思います。ただ、その中でも生き残っていくために、当行では、皆さんの経営課題を解決するお手伝いをさせていただきながら精進してまいりますので、引き続きご愛顧のほどお願い致します。

次週例会 12月24日 卓話「子育て支援について」
三条市教育委員会 子育て支援課
課長 久住とも子様

次々週例会 12月31日 休会

